

プレスリリース:解禁9月5日18時

平成15年9月5日

独立行政法人食品総合研究所
新潟県農業総合研究所
白根市農業協同組合

買った野菜の生産者の顔が見られる！

農産物ネット認証システム本格稼働 HPアドレスは[http://^{しろね}460.jp/](http://460.jp/)

[背景]

農産物は、生産者から消費者に届くまでの間に多くの流通を通るため、生産者からの情報が消費者まで伝わりにくく、商品に特徴をもたせた販売ができず、また消費者も選択の余地がないという問題を抱えていました。

そこで、両研究所とJA白根市では3年前から消費者へのオンデマンドによる情報公開を目指した農産物ネット認証システムVIPS¹(Virtually Identified Produce System)の実証²を行ってきました。今年度より取扱い品目を拡大し本格的なシステム稼働をいたしました。

[特徴]

1. 農産物商品にHPアドレス[http://^{しろね}460.jp/](http://460.jp/)と8桁の商品番号(SEICAのカタログ番号)が表示してあるので、購入した消費者はインターネットを通じて、商品に関する情報をパソコンやi-modeなどの携帯端末で確認することができます。

2. JA管内で生産される20品目の農産物で導入し、すでにエダマメや日本梨、桃などがスーパーなどで販売されています。また、「しろね茶豆」においては94名の生産者単位での情報開示を行っております。

3. インターネットを介して消費者が閲覧できる情報の中身は、生産者のプロフィール、商品の使いこなし方情報(料理レシピや保存方法)など多彩です。

4. 掲示板を設置してありますので、生産者と消費者が双方向でコミュニケーションできます。また、農産物が当たる懸賞付きアンケートにより、消費者の意識調査も可能となります。

5. 本システムは、店頭端末で商品の情報を見やすい形で提供する機能や、販売店が簡単にPOP³を作成できる機能を持ち、システム導入農産物の販売促進につなげることもできます。

なお、店頭端末による生産者情報公開の実演を下記のとおり実施します。

期 日：9月3日(水)から9月9日(火)

場 所：リオンドール加茂店(新潟県加茂市大郷町2丁目1-15)

商品名：「しろね茶豆」

1:(独)食品総合研究所が開発したシステム。個々の農産物にあらかじめ識別したID番号を付与することにより、生産者側の情報をインターネットを使って消費者に伝えることができる。平成15年度からはSEICA(青果ネットカタログ)と連携する形にバージョンアップし、VIPS v.2となった。

2:(独)食品総合研究所、新潟県農業総合研究所による情報提供システムの共同研究が実用化されたものです。

3:ここでは、チラシや価格表示などの広告・宣伝を目的とした印刷物



写真:リオンドール加茂店での店頭情報開示

画面は、通常時は8秒おきに切り替わりながら各生産者の情報を自動表示し、カタログ番号を入力した時は、該当する生産者情報を30秒間固定表示します。

[問い合わせ先]

各機関担当者

(独)食品総合研究所 食品工学部電磁波情報工学研究室長 杉山純一(Tel:029-838-8047)
新潟県農業総合研究所 基盤研究部経営・流通グループ 牛腸奈緒子 白井敏樹(Tel:0258-35-0047)

白根市農業協同組合 営農部 小林明義 長谷部美幸(Tel:025-373-2107)

總括広報担当者

(独)食品総合研究所 広報専門職 関谷修三(Tel:029-838-8044)

< 参考資料 >